

4つの疑問に答えます！



1? ごみの有料化への配慮は？

- こむらさきは、乳児や要介護者がおられるなど、有料化の負担が重い世帯への配慮を拡充します。たとえば、生駒市では、子供の生まれたご家庭に保健師がお邪魔する「こんにちは赤ちゃん事業」を展開していますが、その際に、おむつ用のごみ袋を支給します。

有料化による市の収益は、年間約 1.2 億円です。また、有料化によりごみの分別が進めば、20%前後の排出削減、すなわち年間 3,4 千万円の処理コスト削減となります。

これらの収益は、各家庭から出る生ごみを減らす処理機の購入補助をはじめ、環境対策や福祉対策に活用し、その詳細は、市民の皆様により分かりと公表します。

(生駒市のごみ処理に要する経費は年間約 12 億円。県内でも約 7 割の自治体で有料化は実施済みです。)

2? 高山地区第2工区の今後は？

- 高山地区第2工区をこのままの状態にしておくことは、荒地の拡大など、景観・自然保護の観点から問題があります。

一方、山下前市長の就任前に計画されていた、2万 3000 人規模のニュータウン開発は、今の社会情勢を考えれば当然不可能です。

自然環境や景観にしっかり配慮した将来的な土地利用の検討、道路などのインフラ整備の在り方、リニア新駅の誘致との整合性、費用対効果などを含め、高山第2工区の将来像の検討を速やかに再開します。

4? 国や県との関係は？

- 国家公務員を 15 年務めた私は、各省にネットワークがあります。副市長時代もこのネットワークを活用し、教育・福祉・環境・エネルギー・住宅など様々な分野にわたる生駒市の施策を進めてまいりました。

県との関係も、辻町 IC の奈良方面で入り口の整備など、効果的に県と連携して対応してきましたし、これからも連携していきます。県に要望すべき点は要望し、連携・協力すべき部分は真摯に対応してまいります。

そもそも、知事がだれかによって、特定の市町村に対する対応が変わるような差別的取り扱いはありません。

国や県のご支援を得て円滑に市政を進めるのは当然ですが、生駒市は、これまでも市民とともに生駒市独自の取組を進め、全国でも高い評価を得てきました。地方分権の時代、国や県に頼るだけでなく、まずは市として何をなすべきか、市民と連携して何ができるか、をしっかりと考えてまいります。

3? 生駒市立病院の確実な開院・円滑な運営は？

- 医師や看護師などスタッフの募集は順調に進んでおり、予定通り、6 月に生駒市立病院を確実に開院し、救急医療体制の大幅な改善など、市民の医療・安心のニーズに応えます。

また、市民の皆様の声、病院運営にしっかり反映させる場を設け、市民に愛され、市民が育てる、地域に根差した市立病院を実現します。

山下市政の
継承と発展

山下市政 9 年間の
「継承」と「発展」。
それができるのは、
こむらさき雅史だけ！

副市長
3年半の
実績

こむらさき雅史事務所

〒630-0201 生駒市小明町1348-1

TEL : 0743-75-0648

FAX : 0743-75-0649

E-mail : ikomamirai@gmail.com

FB : <https://facebook.com/komu.mirai>